



ノーサイド 相手を讃え合おう

9月大教会教会長会議

立教 182年 9月 22日

大教会長 片山 幹太

本島通信

発行所 〒763-0223 香川県丸亀市本島町泊 268
天理教本島大教会
電話 0877-27-3321 (代)
本島通信編集室 R.190923-1002-15
奈良県天理市指柳町 270-1
本島詰所 〒632-0093
電話 0743-63-1571 (呼)
Email: news@horjima.com
発行部数: 897部 (先月比±0)

大教会 朝夕おつとめ時間
【10月1日～10月15日】
朝づとめ 午前6時30分
夕づとめ 午後6時30分
【10月15日～10月31日】
朝づとめ 午前6時45分
夕づとめ 午後6時15分

ラグビーワールドカップ日本大会が
9月20日から始まりました。

ラグビーについて、二代真柱様が「人間形成に大変良いスポーツ」と仰せられ、天理では早くからラグビーが盛んに行われてきました。

その二代真柱様のお言葉に通じる出来事が報道されたことを二つご紹介したいと思います。

一つ目は、日本代表が初戦ロシアと対戦し、30対10で勝利した試合後のことです。MOM(マンオブザマッチ、その試合において最も印象的な選手に贈られる称号)に、日本選手が選んだのは、勝った自チームからではなく、相手チームのキリル・ゴロスニツキー選手でした。そして日本のリーチ・マイケル主将がわざわざ相手ロッカーを訪問して、日本刀をプレゼントし、周りの選手も拍手で称えたそうです。

勝って喜びに浸る一方で80分間、戦い抜いた相手選手への敬意を忘れず、

粹なプレゼントまで贈ったことを、ロシア協会公式ツイッターが紹介し、「まさにノーサイド」と、ラグビーの素晴らしさと感動を伝えていました。

二つ目は、観客(サポーター)です。試合の始まりに、両国の国歌斉唱が行われます。

試合直前の東京スタジアム場外で日本のユニフォームを着た20、30人のファンが集まり、ロシア国歌を練習していました。その様子を大会公式インスタグラムが動画付きで公開し、平和的なムードが溢れるおもてなしの様子に対し、「素晴らしいどころじゃない」と大絶賛しました。

私は、戦う選手だけでなく、それを見守るサポーターの人たちも、同じようにノーサイドの精神をもっているように感じました。

それは教祖の教えに通じる、互い立て合いの心のように思います

勝利があるのは、相手があるからこそ。この感激を味わえるのも相手があるからこそ。だからこそ、相手に敬意をもち、相手を立てていく姿勢が、お互いの心の距離を近づけていくように感じた次第です。

次に、天理教校学園についてで

す。来年度が最後の入学生となり、2022年に閉校することが決まっています。そのことについて、久保善平理事長がかなめ会で、次のとおりお話しになりました。

「学校というところは、その定める募集人員に近い方が、その目的にかなった教育ができるのだと考えています。道の後継者育成に励む本校が、最後までその目的に向かって充実した歩みを進めるためにも、また学校が閉じるということを承知で入学を希望してくれている生徒のためにも、来年度の入学者がその募集定員に近づくことが何より望ましいと考えています。」

先日、教校学園高校の教職員から、今回こうしてお見せ頂いた事柄を自分達の節ととらえて、『何とか節から芽を出すことができるように、最後まで、これまでに以上に立派なようばくの育成に努めさせて頂きたい、何とか一人でも多く入学してもらいたいです』という力強い言葉も聞かせて頂きました。最後の年の入学者ということになります。ぜひとも教校学園高校への進学を薦めて頂けたら有難いと思います。『最後だから不安なのですが』というような話になりましたら、最後まで充実した高校生活を送れるように努め

てくれるからと、背中を押して頂ければありがたいと思います。」
というお話でした。

そのお話を聞いて思ったのは、第二専修科が閉校するときのことです。第二専修科は毎朝の神殿掃除から始まります。最後の年になり、学生がわずかにもかかわらず真剣に神殿掃除を務めていました。私は神殿奉仕当番をしながら、彼らの様子を拝見し、学生一人ひとりが終わりを迎えるようとしている最後の一刻を尊んで務めているすごみを感じ、なかなか味わうことのできない体験をさせて頂きました。

天理教校学園は、三代真柱様が強い思いをもって開校された高校です。この締めくくりを味合わせて頂ける貴重な学年となりますので、現在の中学3年生には、ぜひ教校学園を進学の選択肢に加えて頂きたいと思えます。

最後に10月22日の大教会秋季大祭には、宮森与一郎世話人先生のお入り込みと、神殿講話を頂くことになつております。どうか大勢お帰り頂きたいとお願ひいたします。

ありがとうございます。

(文責・本島通信編集室)

本島大教会 神殿講話(要旨)

【立教182年9月22日】

親に喜んで頂ける道を ともに勇んで歩もう

大教会准役員 井上 宏
いのうえ ひろし

本日は大教会の月次祭に、久々に帰らせて頂き、只今は皆様方とともに結構におつとめを明るく陽気に勇んで勤めさせて頂きました。

私はこの2年間、身上を患っておりまして、この神殿講話もどうしようかとギリギリまで悩んでおりました。病んで苦しんでも、神様がこの世に命を置いて下さっているのは、何か役割が

あるからだろうと思います。

大教会長様から「どのような中も明るく陽気に楽しく通らせてもらえる」とのお言葉を頂き、親の声を頼りに、只今より神殿講話を勤めさせて頂きます。

元気な人は気にも留めないことでしよう。私もそうでありました。肺気腫はいきしゅという病気は、吐く息と吸う息がうまくできなくなる病気です。

ところが医学は日進月歩で進んでおりまして、ここにぶら下げている機械で酸素を吸入し、吐ききれない二酸化炭素を出すことをしております。このような機械を車いすこに積んで、おかげで大教会に帰らせて頂くことができました。

このためにかかりつけの医師が大変手を尽くして下さいました。

以前、階段から落ちて、頭を打って、さらに腰骨にヒビが入り、自分で訳の分らない状態になりました。そのまま認知症になり、「ハイ終わり」となるところを、なぜか蘇よみがえってまいりました。

初めは、頭の半分が雲がかかっている感じで、テレビを見ても、誰と会っても、それが何なのか、誰なのか理解できませんでした。ところが思いもかけずどんどん快復してきました。

それは、家内をはじめ、教会の皆さんが必死にお願いづとめを勤めて下さったおかげだと思えます。

医師から「井上さん、ずいぶん元気になられましたね。そしてよくタバコを止められましたね」と言われ、初めてタバコを吸っていないことを自覚しました。

元々は大変な愛煙家だったので、タバコを忘れて、身体や気分が楽になりました。

寝込むような病気ではありません。起きてポーツとするしかありませんので、ちょうどこの際、ええ機会やから、教理の勉強をしようと思ひ立ち、まず二代真柱様の「ひとことはなし」と「大和」を読みました。先人の信仰姿勢を



学びながら「俺は今まで何をやってきたのか」と、自分に足りないところに気づきを与えられました。

以前、岸和田でも名門のお医者さんからある書物を頂いたことがあります。それは「自宅を整理していたときに出てきた、大阪高等学校時代の中山正善さんからもらったもの」とのことです。

大正時代に二代真柱様が中国大陸を視察されました。そのとき、つぶさに観察された記録を写真付きで一冊の書物にまとめられて、それを大高時代の友人に配ったそうです。

その書籍はいま教会の宝物です。そのことを思い出し、改めて読ませて頂いたら、これがすごいのです。詳細については省略しますが、世界性のある広いお心の持ち主だった二代真柱様のお徳に触れ、僕は「これや!」と「なんぼ手前が身上で倒れて居ても、お道のように、よくである以上は、猫の子をとっ捕まえてでも、一日にいつぺんは神様のお話をお取り次ぎしなくてはならん」ということで、医師や看護師、そして世話をして下さる介護士の皆さんに何からでも声をかけお話をさせて頂くことを心がけるようになりました。

朝、目が覚めたとき、「生きている」。

なんと気持ちのいい空気だろう、ありがたい。ベッドの上で目が開いて、息をしていることを確認して、それから起き上がります。一回息をするたびに「親神天理王命様、親神天理王命様」と唱えて息をさせてもらおう。すると段々とボケていた頭も澄んできました。

片山好造2代会長様は、ぶん回し布教と称して、コンパスでおちばを基点ぐるっと円を描き、その線上に布教師を送り込まれました。

私は大教会の役員でも、片山家の身内でも何でもありませんから、私の立場から申せることですが、昔の先生方の信仰は、とにかく親に喜んでもらいたい、その一点でした。

そのことをうかがえる話があります。本島から遠く離れた教会の月次祭に、ある役員先生が巡教に向かれました。皆、信仰に燃えていますから、小さい教会でも大勢の人が集まる。派遣された役員先生は月次祭を巡教され、お食事も召し上がり、大変喜ばれました。

ところが月次祭が終わわり、1日経ち、2日経ち、3日経っても役員先生は帰られない。「おはようございます。今日もいい天気ですね。お茶でも一杯頂きましょう」と言うたが最後、神殿に座り込んで、何をしていいのか知りま

せんが、とにかく帰らない。

3日目に痺れを切らした教会長が「先生、いつお帰りになりますか」と尋ねると、役員先生は「帰りたいんやけどな。旅費も頂いているんやけどな。本島に帰って会長さんに喜んでもらえるようなお土産がないんや」と。

理に聡い教会長さんは「あ、それはすみませんでした。分かりました」と、そこから信者さん宅を駆け回って御供を集め、奥さんにアイロンを用意させて、しわくちやのお札にアイロンをかけてピンピンにして、それを新聞紙にくるんで「どうぞお持ち帰りください」とお渡しされたそうです。

それがカッコいいんですよ。出発の汽車まで見送りに行かれたとき、役員先生が「ありがとう。ありがとう。これで帰って好造会長様に喜んでもらえる」と。

理の親と子のつながりは、実の親子以上のつながりがあるように思います。私も身上を頂いてから、ともすれば「出来の悪い上級や」とか、「あの会長はああだ、こうだ、何とか」と、ずいぶんそんな話を聞きました。

だけどその中で、本当の信仰とは何だろうか。老会長様に喜んで頂けるお土産を持って自分が喜んでる信仰、

先ほど大教会長様が仰った、「どんな中も喜んで通れる」その一端を感じて勇ませて頂いた次第です。

今日、本当はもつとカッコいい原稿を用意していたのです。ところがどういうわけか、自教会に忘れてきてしまいました。そのことを大教会長様にお伺いさせて頂き、そこで素直に承ったことをぶつつけ本番でお話させて頂く事になりました。

我が家の信仰初代である祖母井上きみも申していました。「宏な、何にも心配することはいらんのやで。神様にしっかりとたれて通れ」と、これが今日までの私の座右の銘になっています。このお道は、御利益を願う信仰ではありません。今日一日、十全のご守護を頂戴して神様にお護り頂いていることに日々感謝し、ご恩にお報いする道であります。

今後とも親に喜んで頂けるよう、共々によりしくお願いいたします。ありがとうございました。

(文責・本島通信編集室)



九月月次祭 祭典役割

神殿講話	胡三味線	向所暉美子	井上宏
	三味線	片山榮	岡崎むつゑ
	胡弓	和岡敏恵	加藤道代
ちやんぼん	片山肇	伊東康成	雲庵春彦
	窪田靖明	高島栄造	大矢万三
	井上哲	向所隆文	長尾海和
拍子木	西山道教	永島宗行	岩橋守行
	岩橋慶三	高垣光治	村田輝夫
	雲庵道延	岡崎八十則	木村大喜
すりがね	長尾澄子	雲庵まち子	菅岡和美
	片山榮	和岡敏恵	白鳥有子
	向所暉美子	岡崎むつゑ	加藤道代
てをどり	池田さわみ	宮本幸子	宮武有為子
	片山孝代	老木加代子	梅木澄代
	会長夫人	牧野ハル子	原口和子
地 方	大教会長	篠原丕王	原口実
	片山勲	大上道徳	吉田知彦
	高島清弘	奥村龍夫	宮路和徳
座りづとめ	岡崎俊郎	吉田晴雄	平井真治郎
	牧野道昭	永山晴明	片山直明
	寺本教生	後藤正治	吉野俊宏
指図方	祭主	大教会長	岩橋竜造
	指図方	片山勲	原口実
	座りづとめ	西山道教	原口実

献饌長 老木邦光
伝供 井上哲・篠原丕王・永山晴明・吉田晴雄・岡崎八十則・平井真治郎・向所隆文・永島宗行・大上道徳・後藤正治・奥村龍夫・伊東康成・上野作也・高島栄造・宮路和徳・茶屋原良昭・肥後章・位下道治・渡部友見
鎌田典夫・本田政勝・宮路茂照・山下英久・須崎晴道・村田輝夫・木村大喜・溝口晋太郎・倉嶋孝明
雅楽奉仕者 文圃育則・高垣光治・雲庵春彦・大矢万三・片山直明・長尾海和・岩橋守行・香川高範・伊東賢太郎・鎌田康典(順不同)

九月月次祭祭文

立教百八十二年九月二十二日

この神床にお鎮まり下さいます親神天理王命の御前に天理教本島大教会長片山幹太慎んで申し上げます。

親神様には、世界中の人間をたすけたいとの思召から、この世の表にお現われ下さり、元の真実の理をお明かし下さると共に、つとめときづけによる自由のお働きをお見せ下さり、陽氣ぐらしへとお導き下さいます御守護の程は、誠に有難く勿体ない極みでございます。

私共は、果てしなき親心と尽きせぬ御守護のまにまに、生かされている喜びを胸に、日々たすけ一条につとめ励ませて頂いておりますが、その中にも今日の吉日は、当大教会の月毎の御祭日を迎えましたので、只今から役目に与るおつとめ奉仕者一同、心を一つに揃え、陽氣に勇んで、座りづとめ、てをどりを勤めて、九月の月次祭を執り行わせて頂きます。

御前には、秋の訪れを間近かにして、思いもかけぬ天候不順の中もいとわず、大勢の教子達が帰り集い、日頃賜る御厚恵に御礼申し上げ、相共におつたを唱和して、尚も変らぬ御守護にお頼りする真実の状を御覧下さいます、親神様にもお勇み下さいますようお願い申し上げます。

この月は「にをいがけ強調の月」であり、月末の三日間は、教会長を先頭に全よふばくが、報恩感謝を胸に、一手一つに親神様の思召を、地域社会の人々へ伝え広めさせて頂きたいと存じ

ます。

更に、来月二十六日の秋季大祭に続いて「第九十五回天理教青年会総会」が開催されるに当り、去る「創立百周年記念総会」での決意も新たに、自ら進んで一人でも多くの会員と共に、おらばに結集して、御存命の教祖におよろこび頂けるよう努め励ませて頂きたいと念じております。

何卒、届かぬ私共ではございますが、この上共に、厚き親心にお抱え頂き、陽氣づくめに勇み立つ世の状に一日も早くお導き下さいますよう、一同と共に慎んでお願い申し上げます。

(原文のまま)

入社祭

(立教182年9月22日)

▼安藝本中△荒瀬道彦【計1名】

9月22日(日)
【香川県丸亀市】

天候 雨一時曇

最低気温 22.5℃

最高気温 26.9℃

平均気圧 1007.4 hPa

平均湿度 87%

平均風速 3.2 m/s

日照時間 0.0 時間

降水量 12.5 mm

※ 降水量は一日の総雨量

サウザンパシフィック教会 創立90周年記念祭

サウザンパシフィック教会（岡崎マローン会長、米国カリフォルニア州ロサンゼルス市）では、9月7日午前10時より、大教会長を迎え（随行・岩橋竜造准役員）、創立90周年記念祭を執り行いました。参加者は132名（子ども約30名を含む）

サウザンパシフィック教会は昭和4年（1929）1月11日、岡崎ヨ子よねを初代会長とし



てロサンゼルス市内に設立の理をお許し頂いたことに由来します。

当日は気温30℃、カリフォルニア晴れにそよ風が吹き抜ける天氣に恵まれました。

挨拶に立った大教会長は、創立90周年を迎えるに当たり、これまでの先人先輩方の歩まれた道を振り返るとともに、「親神様の思召に基づいて、自ら進んで教えを実践し、おつとめを勤め、おさづけの理を取り次ぎ、日々心の埃を祓いながら、陽気ぐらしを目指しましょう」と信仰実践を勧めた上で「次の目標は本島大教会創立120周年記念祭があります。日々の生活の中で味わう喜びや、有難いという感謝の輪を周囲に広げて、大教会記念祭目指して心の成人に努めましょう」と次の目標を述べられました。

続いておつとめが陽気に勇んで勤められました。

直会では、教会長子弟の4人がアメリカ伝道庁「チビ太鼓」メンバーとともに大鼓演奏を披露。またマリアッチバンドの演奏も行われました。教会周辺はメキシコ系の住民が多く住む地域ということもあり、英語のみならずスペイン語を使って地域の人々への匂いがけに力を入れました。

また同教会神殿は昭和32年（1957）に建築されたものですが、築後60年以上を経てシロアリが発生したことから、理のお許しを頂いて、親神様・教祖のお目標様ならびに祖霊様を部内のハリウッド教会へご遷座申し上げ、建物全体にテントをかぶせてシロアリ駆除を行いました。

そのため記念祭前夜に鎮座祭、続いて翌7日の創立記念祭と併せて、奉告祭が執り行われました。

秋季霊祭役割

雅楽奉仕者 文岡育則・雲庵春彦・大矢万三・片山直明・長尾海和・岩橋守行・伊東賢太郎・鎌田康典

- 祭主 大教会長
- 指図方 片山 勲
- 扨者 牧野道昭
- 賛者 西山道教
- 岩橋竜造
- 原口 実
- 献饌長 老木邦光
- 伝 供 井上哲・篠原丕王・永山晴明・吉田晴雄・平井真治郎
- 向所隆文・大上道徳・後藤正治・奥村龍夫・伊東康成・高島栄造・田中丸勝也・鎌田典夫・山下英久・吉野俊宏・本田政勝・長濱充憲・上野作也

笛	てをどり	地 方	てをどり前半	てをどり後半
ちゃんぼん				
拍子木				
奥村龍夫	岩橋竜造	片山 肇	平井真治郎	
原口 実	永山晴明	西山道教	大上道徳	
長尾澄子	片山孝代	伊東康成		
篠原久子	岡崎むつゑ			
伊東晴美	伊東晴美			
田中丸勝也	田中丸勝也			
本田政勝	本田政勝			
長濱充憲	長濱充憲			
上野作也	上野作也			
鎌田典夫	鎌田典夫			
片山直明	片山直明			
永山みずゝ	永山みずゝ			
片山美穂	片山美穂			
上野千亜紀	上野千亜紀			

本島大教会秋季大祭

世話人・宮森与一郎先生ご巡教

10月22日午前9時執行



中国四国&関西ブロック「地域の集い」

次代を担う教会長子弟や道の後継者が、それぞれの地域で集い、信仰と親睦を深める「地域の集い(教会長子弟育成委員会主催)」。2年目を迎えた今年も、まず中国四国ブロックと関西ブロックで開催されました。

◆中国四国ブロック

中国四国ブロックでは9月1日に本島大教会で行われ、18名が集いました。

まず長尾海和担当委員より「教祖のひながたをたどる」と題して講話。続いて屋釜キャ



ンプ場に移動して昼食を食べながら親睦をはかった上で、午後から海の家解体ひのきしんに汗を流しました。

大教会では3年後に創立120周年が執り行われますが、まずは大教会に最も近い中国四国ブロックのお互いが親教会に積極的に伏せ込ませて頂くことを誓い合いました。

◆関西ブロック

続いて関西ブロックが、9月8日に本島詰所において開催され、13名が集いました。まずウォーミングアップで



気持ちのリラックスした後、稿本天理教教祖伝第五章「たすけづとめ」を拝読。続いて「おてふり練習」を行いました。参加者のほとんどが、日常生活で教祖伝拝読やおてふり練習の経験がなく、特におてふりは、基本の手を細かく練習しました。

昼食はたこ焼きと焼きそばを皆で焼いて、楽しく食事しながら親睦を深めました。

◆次回は九州・関東で

なお地域の集いは今後、11月10日に九州ブロック(赤峰分教会福岡布教寮・福岡市中央区)、17日に関東ブロック(本京分教会・東京都練馬区)で開催されます。

本島につながる若いようほぐが、教えに触れ、心を結び合う貴重な機会です。教会長子弟はもちろんのこと、お道の次代を担ってほしい子弟に、ぜひ参加の声をかけをお願いします。

各地の動き

■レッツゴー青年会

青年会本島分会(片山秀明委員長)では、9月14日から16日にかけて、大教会において「レッツゴー青年会勇み隊」を実施。11名が集いました。大教会表参道の斜面の草刈り、海の家資材の片づけひのきしん等を行いました。



■女鳴物勉強会

婦人会本島支部(片山かおり支部長)では、秋季霊祭前夜である9月22日夕づとめ後、神殿において女鳴物勉強会を実施。約20名が受講しました。片山孝代おつとめ修練部委員を中心に、三味線と胡弓の手入れ、姿勢、構え方、弾き方、所作など一通り学び、最後によりづよ八首を皆で合奏しました。

なお婦人会では今後も霊祭前夜に勉強会を続けることにしており、次回は来年3月22日の予定です。

2019年 11/3 (日) 第29回 女子青年大会

「教祖のひながたをたどる」

「おてふり練習」

「たすけづとめ」

広げよう信仰のよろこびを
友達さそっておちばへ帰ろう!

式典 立教182年11月3日午前10時 本部中庭 / (おつとめ) 式典に引き続いて
別冊 / 記念行事 ●支部のつどい……………おつとめ終了後 各支部に於いて
●よろこびフェスティバル……………11月2日夕づとめ後 東・西教会ホール前
天理教婦人会

事情はいつ

立教182年9月、本島関係のお運びはありませんでした。

おさげほの理拝戴

(立教182年8月分)

▼新信峰△荒木孝雄△福本一輝 【計2名】

をびや許し

(立教182年8月分)

▼本攝△鈴木理絵 【計1名】

証拠守り下附

(立教182年8月分)

本盛濱1、別峰1、都峰1 【計3名】

おさげほお取り次ぎ報告

(立教182年9月22日)

提出教会 24教会

報告数 2、194回

累計 13、584回

※前年同月累計比 80.1回減

大教会長動向

▼10月(予定)▲

3日、香川教区役職者会議

10日、撫川分教会巡教

12日、本岡分教会巡教

13日、本宮濱分教会巡教

15日、本浜分教会巡教

17日、本九分教会巡教

22日、大教会秋季大祭執行

24日、修養科総立ちまなび

25日、かなめ会委員会

26日、本部秋季大祭

27日、天理教青年会総会

かなめ会

以上

ろくぢ会

(立教182年9月分)

▼本島△片山幹太・片山かおり・香葉子・幹太郎・好次・昇太△片山秀明△長尾真美・幸太△藤山さちよ ▼樺太分教会 ▼本樺△大上ほの香・はる香・太吉 ▼本浜△片山清枝・正枝・誠 ▼本攝分教会 ▼崇徳分教会△高垣さとえ

▼ポートランド教会△片山和信・陽子・昇慶・竜次 ▼シートツク教会

ご芳志に厚くお礼申し上げます

伊勢大神楽が本島へ

伊勢大神楽は、獅子舞を舞いながら諸国を巡り、かつては伊勢神宮、現在では伊勢大神楽の神札を配布してまわる神楽師のこと。国の重要無形民俗文化財に指定されています。

現在五家の家元が存続していますが、その中の森本忠太夫家の一行が今年も塩飽諸島へ回榎し、9月4日、本島大教会においても奉納されました。

獅子頭には悪魔除けの力があるとされ、頭囃みの御祓を大教会在籍の皆さん受けられていました。



統計 (8月1日~31日)

教会名	初席	中席	要の種	修料	教人講習	検定講習
室花		1				
本花		1				
フィリピン		1				
本幹		2				
本前	1					
本勇		1				
本九		1				
本小倉		1				
本山	1					
赤峰	1	2				
栄森	1	1				
別峰		3				
吉松		2				
新信	1		2			
工又・シー	1					
合計	6	16	2	0	-	-

立教182年 秋季大祭 おかえり講話

10月26日(土) 午後3時より

本島詰所 4階講堂
奈良県天理市榊町270-1

天理大学柔道部監督
穴井隆将 先生
あない たかまさ

◆天理柔道の魅力
◆三代貞柱様との思い出
◆東京五輪2020など

入場無料です
当日は午後3時30分までに会場へご来場ください
服装は、自由、練習着がおすすめです

お問い合わせ:
電話: 0763-63-1572
FAX: 090-5755-3414

式典: 午前10時 本部中庭

令和元年 10/27 SUN



世話人宮森与一郎先生ご巡教

【本島大教会】

大教会秋季大祭(10月22日)に世話人宮森与一郎先生のご巡教を頂きます。

本部秋季大祭

【教会本部】

●日時：10月26日(土)午前8時執行

秋季大祭おかえり講話

【本島詰所】

- 日時：10月26日(土)午後3時
- 会場：本島詰所4階講堂
- 講師：穴井隆将先生(天理大柔道部監督)
- 入場無料、どなたでも参加できます

天理教青年会総会

【青年会】

- 式典：10月27日(日)午前10時
- 会場：本部中庭

第29回女子青年大会

【婦人会女子青年部】

- 日時：11月2日(土)正午本島詰所集合、3日(日)午後2時ごろ解散
- 内容：別席または基礎講座受講、よろこびフェスティバル、式典、支部のつどい
- 参加御供：500円(詰所の宿泊食事御供は各自詰所をお願いします)
- 送迎：11月1日(金)22時各地出発
◇関東(本京分教会)担当：吉田要子
◇九州(JR吉塚駅)担当：原口和子
◇その他、岡山方面からも運行予定
◇送り便は11月3日(日)14時詰所出発予定
- お問合せ：原口いつほ
(090-6232-7711)

九州ブロック「地域の集い」

【教会長子弟育成委員会】

- テーマ：「共に道をつないで」
- 日時：11月10日(日)
午前10時より午後3時30分
- 会場：赤峰分教会福岡布教寮
福岡市中央区清川2-6-5
(JR博多駅西鉄天神駅より徒歩20分)
電話：092-791-3642
- 対象：教会長子弟に限らず、どなたでも参加できます
- 内容：ワークショップ、親睦会
- 参加費：500円
- ご連絡、お問合せは下記担当委員まで
原口実(090-4533-4973)
雲庵春彦(090-2515-8039)
宮路和徳(090-3739-3414)
- 参加申込みの締切はございません

関東ブロック「地域の集い」

【教会長子弟育成委員会】

- テーマ：「共に道をつないで」
- 日時：11月17日(日)
午前10時より午後3時
- 会場：本京分教会
東京都練馬区栄町11-6
(西武池袋線江古田駅徒歩7分)
電話：03-3991-0401
- 対象：教会長子弟、信者子弟、ほか関東地域にお住まいの方、どなたでもご参加下さい(18才～60才位まで)
- 内容：講話、班別ミーティング、感話、親睦会
- 参加費：500円
- ご連絡、お問合せは下記担当委員まで
沖野一道(03-3362-3253)
後藤正治(0465-22-8813)
吉田晴雄(0436-22-8648)
- 参加申込：10月26日

少年会本部研修員募集

【少年会本部】

- 将来の伝道を担い、活躍する人材を育成
- 募集人数：50名
 - 出願期間：立教182年9月26日～立教183年2月29日(必着)
 - 研修期間：立教183年3月26日～立教184年3月26日
 - 出願資格：①団長が推薦し、直属教会長が認めた者。②ようぼく(研修期間中におさづけの理を拝戴する者も可)
 - 詳細は少年会(岩橋竜造団長)まで。

みちのだい感話大会

【婦人会本部】

- 10月25日(金)18時15分、東講堂
- 11月24日(日)13時、陽気ホール(南右第二棟)
- 1月26日(日)15時、東講堂
- 入場無料、どなたでも参加できます
- 別席強調期間：10月20日～11月30日
- 1人が2人の会員を(今私にできること)

青年会本島分会総会

【青年会本島分会】

- 日時：11月23日(祝)
- 会場：本島大教会

10月ひのきしん派遣依頼

【総務部】

〈本部食堂ひのきしん〉

- 期間：10月16日～31日
- 派遣教会：赤峰①

〈大教会・炊事ひのきしん〉

- 期間：10月21日～22日
- 派遣教会：樺太①、本承德①、本九②

〈秋季大祭詰所帰郷参者世話取りひのきしん〉

- 集合：10月24日午後8時、写真の間
- 解散：10月27日午前8時、写真の間
- 派遣教会：樺太①、本樺①、本室①、渋谷①、本京①、本浜①、本攝①、本宮濱①、崇徳①、沖浦①、本清水①、本高①、本肥①、赤峰②

にをいがけ名簿提出教会 (9月)

本島	0	本日米	5	吉峰	7
本室	5	本千代	8	豪峰	59
渋谷	20	攝泉	6	倉峰	7
御幸濱	6	本山海	1	栄峰	29
本桶川	5	本備前	12	大雄峰	37
代々木	7	本府中	2	雄福峰	20
本萬代	3	崇徳	8	雄山峰	17
本都	61	本宣道	10	栄東峰	20
本京	18	本陽山	3	吉松峰	41
本草	40	本新田	3	仙峰	12
本恵明	3	赤峰	30		

計 32 教会 505 名